

共同通信社が配信した記事について

10月24日、『障害者の支援記録を書き換え 職員不適切言動「隠蔽」』との見出しで、当事業団に関する報道がありました。

これは、障害者支援センター松が丘園一時ケア事業における令和2年11月の利用の際の支援内容に関するものです。

ご利用者様、ご家族様、市民の皆様等、多くの皆様にご心配、ご迷惑をおかけし申し訳ありません。

報道されております支援記録の書き換えにつきましては、記録内容からはどのような支援が行われたか不明な点があったため、支援記録の記録者及び実際に利用者の支援を行った職員に状況を確認したところ、実際の支援内容と記録内容に認識の相違があったため、書き直しを指示したものです。記事に書かれているような隠ぺいの意図はありませんでしたが、結果として、誤解を招く状況となりましたことを深く反省しております。

また、支援に際しての職員の発言についても、支援の専門家である職員が使用すべき言葉として不適切なものであったと認識しており、ご利用者様、ご家族様が不快な思いをされたことは大変申し訳なく、お詫び申し上げます。

当事業団といたしましては、今後、このようなことを二度と起こさないよう、職員への研修、指導等に職員一丸となって取り組んでまいります。

今回、ご心配等をおかけしました多くの皆様に、改めてお詫び申し上げます。

令和4年10月26日

社会福祉法人相模原市社会福祉事業団

理事長 彦根 啓